

聲

金子みすゞ

空のあかるい
日のくれば、
いつも遠くで
聲がする。

かごめかなんか
してるよな。

それとも
波の音のよな。

やつぱり
子供の聲のよな。

なにかひもじい
日のくれば、
いつもとほくで
聲がする。



『金子みすゞ全集』（JULA出版局）

表紙の説明

油谷こどもミュージカル

夢をテーマに演じる

平成14年から毎年公演を実施している油谷こどもミュージカルの第14回定期公演「夢の続きは、夢の中」が12月20日(日)、ラポールゆやで行われ、市内の小中高校生36人が演じました。

廃校が決まった分校の子どもたち6人が集う音楽室には「モーツアルトのポケット」と呼ばれる小さな穴がありました。テストの答案や恋文などが入れられ、時代を超えて何千人の思いが詰まったこの穴に、カメラマンになる夢を持つていたものの病気に侵された主人公風早は、最後の写真とともにカメラを残そうと決めます。

出演者は、今と昔の2つの世界の人を演じながら、夢をテーマにした物語を観客に届けました。



▲主人公の風早（中央）

長門市のDATA

〔平成28年1月1日〕

人口	36,130人	(-56)
男	16,743人	(-14)
女	19,387人	(-42)
世帯数	16,183世帯	(-5)

()内は先月比

〔12月分〕出生	14人	死亡	50人
転入	44人	転出	64人

編集後記

今年は申年。4回目の年男になりました▼1回目は小学6年生のとき。先生から小学校最上級生としての務めを果たすようにと指導されました▼2回目はまだまだ未熟だった社会人2年目。初めて福祉に携わりました▼3回目は社会人14年目。子どもが小学校に上がり、子育てと仕事の両立にがんばっていました▼4回目の今年は、体力低下を食い止められるよう、健康に気をつけたいと思います▼昔イメージしていた48歳は、落ち着いていて、みんなに頼りにされる年齢。果たして自分はそうなれているのか？自問自答する毎日、これからも精進していきたいと思います。(つ)